

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設  
指定管理者  
指定期間  
施設所管課

三浦しらとり園

社会福祉法人清和会

平成23年4月1日 ～ 平成33年3月31日

障害サービス課

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

家族会のモニタリングをはじめ、障害児施設として第三者評価を受審するなど、法人・施設運営の透明化に努め、職員研修にも人材育成の視点から積極的に実施するなど開かれた施設運営に努めている。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	平成24年11月16日		○	—	—	無	特になし
11月	平成24年12月17日		○	—	—	無	特になし
12月	平成25年1月17日		○	—	—	無	特になし
1月	平成25年2月20日		○	—	—	無	特になし
2月	平成25年3月19日		○	—	—	無	特になし
3月	平成25年4月26日		○	—	—	無	特になし

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	職員配置、経費節減等の観点からの効率的な施設運営	引き続き給食調理業務を委託方式とし、非常勤の運転手を配置した。また、利用者の生活に影響のない建物等での暖房時間や照明の調整等で光熱水費の節減を図った。

	提案内容	実施状況
2	利用者サービスの向上への取組み (1) 食生活環境の改善 (2) 外出機会の増加のための車の確保 (3) 法人内施設との相互の施設交流 (4) 個別処遇の確立とチームアプローチ (5) 強度行動障害事業への対応	(1) 昨年度から厨房に温冷配膳車9台を導入し、適温の給食提供を実施している。また、選択食の導入のほか、高齢者寮ではソフト食を導入した。 (2) 日本財団に福祉車輛の申請を行ったが、通らなかった。 (3) 清和会が主催する体育祭(10月)、新春の集い(1月)に利用者・職員が参加した。 (4) 理学療法士(常勤・兼務)を配置し、医師との連携を図りながら機能訓練のマネジメントの体制を整備している。栄養ケアマネジメントについては管理栄養士、看護師等の連携を図り昨年からの栄養マネジメント加算を導入している。 (5) 中井やまゆり園が実施した強度行動障害基礎講座や現任研修を受講し、支援レベルの底上げを図っている。
3	診療所の医療水準の維持	引き続き湘南病院に診療業務を委託し水準の確保を図っている。利用者の健康管理については、昨年と同様に内科検診、歯科検診、尿検査、耳鼻科検診等を実施し、21名の入院をすべて湘南病院で受入れてもらった。
4	施設の生活水準の改善 (1) 居室の個室化 (2) 通所部門の分離等 (3) 施設の再整備及び強度行動障害事業の環境整備	三浦しらとり園中長期計画策定会議にて、検討している。
5	施設入所者の地域生活移行への取組	地域移行が可能な利用者を移行させるため、法人所有の既存のグループホームを建て替えて定員増を図り、また、新たなグループホームを設置する等の準備を進めている。
6	職員の人材育成	障害者虐待防止にかかる研修の実施や支援の難しいケースの事例検討などを行い、職員の支援技術の向上に努めている。
7	地域との連携体制の構築	地域の方にボランティアをお願いし、環境整備、利用者の余暇支援、日中活動支援など1120名のボランティアの協力を得た。また、引き続き地域の民間施設や行政機関と連携、協力し、日中一時支援や児童の一時保護等を行った。

#### 4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)					0		0
予算額	前年度	728,682	620,046	7,174	1,355,902	1,272,384	83,518
	上半期	414,820	215,044	110	629,974	581,433	48,541
	下半期	313,862	405,002	7,064	725,928	690,951	34,977
	今年度	670,683	636,535	13,004	1,320,222	1,196,999	123,223
	上半期	345,282	224,362	758	570,402	558,375	12,027
	下半期	325,401	412,173	12,246	749,820	638,624	111,196
下半期実績額	10月	47,299	56,194	634	104,127	105,646	▲ 1,519
	11月	47,299	51,317	687	99,303	73,620	25,683
	12月	113,641	54,913	531	169,085	156,836	12,249
	1月	47,299	54,738	660	102,697	110,383	▲ 7,686
	2月	47,299	50,934	610	98,843	78,818	20,025
	3月	17,407	151,799	858	170,064	132,818	37,246
	今年度 下半期合計	320,244	419,895	3,980	744,119	658,121	85,998
	前年度 下半期合計	312,190	412,902	40,585	765,677	784,891	▲ 19,214
	対前年度下半期比			③	-2.8%	-16.2%	
参考	今年度 上半期合計	345,282	224,362	758	570,402	558,375	12,027
	今年度 合計	665,526	644,257	4,738	1,314,521	1,216,496	98,025

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

#### 収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	○	支払を滞りなく行うための運転資金、修繕費積立金及び人件費積立金として計上
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	利用料金収入のうち国からの介護給付費等収入については、国保連を通して2ヶ月遅れで支払われる。法人の会計処理上2、3月分の介護給付費について翌年度4、5月に支払いのあった分を3月分(当該年度)の収入として決算処理しているため、3月の利用料金収入が他の月の3倍(約1億円の増額)となっている。(その分、上半期4、5月分の収入は減となる。)こうした会計上の処理の結果、下半期の収支差額の増となっている。
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等

基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：大規模修繕：指定管理者と協議、各所営繕工事・計画修繕工事：県、これ以外：指定管理者

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	33,392	給水設備改修工事（33,392千円）
合計	33,392	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	(期首)	
	47,000 (期末)	修繕費積立金 人件費積立金

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	119 人	117 人	1.7 %
11月	117 人	117 人	0.0 %
12月	118 人	117 人	0.9 %
1月	118 人	116 人	1.7 %
2月	118 人	116 人	1.7 %
3月	115 人	115 人	0.0 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	732 人	698 人	702 人	▲ 4.7 %	▲ 0.6 %
今年度下半期計	732 人	706 人	698 人	▲ 3.6 %	1.2 %
今年度合計	1,464 人	1,404 人	1,400 人	▲ 4.1 %	0.0 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	○	児童、成人ともに長期入所枠に若干の空きがあったため、目標利用者を下回っているが、空きベットについては短期入所や一時利用で活用されており、地域に住む障害者の在宅支援に貢献している。
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち 所管課受付分	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち 所管課受付分	3 ( 0 )	2 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	5 ( 0 )

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
( )		
( )		
( )		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

下半期も引き続き安定した施設運営がなされてきた。10月からの障害者虐待防止法施行を受け、関連の研修の実施や、行動障害のある利用者の支援技術の向上のための研修への職員派遣等、対応が難しい利用者への支援技術の向上に向け、人材育成にも積極的に行っている。また、児童課では第三者評価を受審する等、サービス向上に向けた取り組みを取り入れていることも評価できる。

平成25年度からは完全な法人職員による施設運営となるため、福祉人を確保し、スムーズな引継ぎを行って引き続き安定した運営を期待したい。